

## 東三河の市町村別人口動向

1 最近の自然増減について、貴市町村で特徴的な理由があれば記入してください。

**【豊橋市】**

- 将来人口を推計すると 2030（令和 12）年に 359,000 人まで減少する見込み。  
未婚化や晩婚化などに起因する出生数の低迷が見られる。

**【豊川市】**

- 「愛知の人口」の年報（各年前年 10 月～該当年 9 月集計）によれば、自然減は 2019 年は-471 人、2020 年は-355 人、2021 年は-493 人、2022 年は-663 人となっており、年々増加してきている。この要因について特徴的な傾向を捉えることはできなかったが、2023 年 4 月の大規模商業施設オープン効果による子育て世帯の移住、その隣接地での民間開発（97 戸）による宅地販売、さらには 2024 年度に換地処分を終える豊川宿伊奈土地区画整理地内の保留地（23 戸）で宅地建築が始まるなどにより若年世帯の増加が見込まれ、自然減少の食い止めに期待している。

**【蒲郡市】**

- 出生数の低下から自然減が見込まれる。

**【豊根村】**

- 豊根村では、老年人口（65 歳以上）は減少しているが、年少人口や生産年齢人口がそれを上回って減少しているため、老年人口比率は増加している。
- 平成 27 年と令和 2 年の国勢調査による人口の比較
    - 65 歳以上：17 人減少（550→533 人）、人口比率 3.9%増（48.5→52.4%）
    - 75 歳以上：45 人減少（356→311 人）、人口比率 0.8%減（31.4→30.6%）
  - 令和 2 年 3 月末と令和 5 年 3 月末の住民基本台帳人口の比較
    - 65 歳以上：47 人減少（539→492 人）、人口比率 0.5%増（50.0→50.5%）
    - 75 歳以上：34 人減少（323→289 人）、人口比率 4.1%減（32.2→28.1%）

2 最近の社会増減について、貴市町村で特徴的な理由があれば記入してください。

【豊橋市】

○外国人労働者の在留資格「特定技能2号」の対象拡大がすすめば、本市は外国人市民が多いため、住みやすい環境を整えることにより人口増が見込まれる。現在、新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた外国人の転入が増えている。

【豊川市】

○土地区画整理事業の施行地区やイオンモール周辺地区を中心に、市全体で月100件前後の社会増にあり、今後も続く見込みである。

○金屋地区の転出数が多く、陸上自衛隊豊川駐屯地の年度末転出によるもので、今後は年度始めの転入増が見込まれる。

(令和5年1月から3月の人口動向)

【蒲郡市】

○塩津地区にて外国人比率が高い傾向にあり、今後も続く見込み。

【新城市】

○進学等で若者が転出するが、就職時に帰省せずに都市部に留まってしまうことで社会減が続いている。

- 3 自然増減対策について、貴市町村で独自に実施している施策を教えてください。  
(資料4に記入したもの、国・県の制度を拡充したものは除く。)

**【豊橋市】**

○人づくりNo.1をめざすまちプロジェクト

本市のまちづくりに携わる人を育てていくため、学校給食の無償提供などの子育てや教育の分野に重点を置いた様々な施策を進めている。家事支援事業として、1回あたり500円(ワンコイン)で家事代行サービスが利用できるクーポンの配布を今年から新規事業で行っている。

**【豊川市】**

○結婚支援事業・・・結婚相談事業、結婚支援セミナー&イベント事業、フォローアップ相談、民間団体等が開催する結婚支援イベントへの補助

○シルバー人材センター事業への支援拡充・・・ちょこっとサポート事業(介護保険制度では対応できないお墓の管理や電球の取替等といった細かいニーズに対応する事業)

**【蒲郡市】**

○子育て支援事業

○高齢者の健康増進事業